

国語 第3学年 しょうかいする文章を書き、感想をつたえ合おう 検討会の想定問答

指摘 1: ねらいが曖昧ではないか。この単元で何を身に付けさせたいのか。

返し: 中心はB(1)オ「書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること」。本時はその読み合いの時間に当たる。書く段階では〔知識及び技能〕(2)アの、考えと理由の関係を指導する。

指摘 2: 評価規準は何か。どこで見るのか。

返し: 3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能①は第3時の図とメモ、第5時の組み立てメモ、第7時の下書き、思考・判断・表現①は本時の感想カードとノート、第10時のノート、態度①は第1時、第8時の読み返し、第10時の振り返りで見る。

指摘 3: 言語活動は何か。

返し: B(2)ア「調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動」。町のよいところを見たことや聞いたことを基に紹介する文章を書き、読み合って感想を伝え合う。

指摘 4: 個に応じた指導はどうするのか。

返し: 紹介するものが決まらない子には、社会科の町探検の写真から選ばせる。書くのが苦手な子には、「…のよいところは、…です。なぜかという、…からです」の型を渡す。感想が言えない子には観点の掲示を一つずつ示して聞く。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 5: ICTは使わないのか。

返し: 二つ想定している。町で見つけたものを端末で写真に撮って文章に添えること、本時に文章と写真を共有してコメントで感想を伝えること。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。お店や人を撮る時は相手の了解を得る。端末が無ければ絵と紙の感想カードで同じことができる。

指摘 6: 教科書の例どおりに書かせればよいのではないか。

返し: 教科書の組み立てメモの例や文章の例は、第4時と第6時に書き方の工夫を見付ける資料として使う。紹介するものは子どもの町から選ばせる。指導事項から組んであるので、どの会社の教科書でも置き換えられる。

指摘 7: 10時間は多い。時間が足りない。

返し: 10時間は光村図書の年間指導計画例の配当に合わせた。材料集め(第2・3時)は社会科の町探検で見たことを使うと短くできる。第3の1(5)は書くことの指導で「実際に文章を書く活動になるべく多くすること」としているの、書く時間(第6～8時)は削らない。読み合いを一時間にまとめる場合は、第10時の届ける準備を家庭学習に回す。

指摘 8: 発問が多すぎないか。

返し: 本時の中心発問は「いちばん行ってみたくなくなったのはどこか。どの文からそう思ったか」の一つ。導入の問いは観点を子どもの言葉で決めるための問い。全体には中心発問とめあてだけを板書する。

指摘 9: 板書はどう使うのか。

返し: 子どもの言葉から決めた三つの観点を短冊で残し、読み合いの間も見えるようにする。中央には、わけの書き方が違う二つの文章の一文を並べ、どちらにもよさがあることを確かめる。B(1)オの「書こうとしたことが明確になっているか」を、わけの文で目に見える形にしたもの。

指摘 10: 振り返りは何を書かせるのか。

返し: 「自分の文章のよいところ」と「今度書く時にいかしたいこと」の二つ。一つ目は友達の感想の言葉を使って書かせ、思考・判断・表現①の評価に使う。二つ目で、学習の見通しをもって次の学習に向かおうとしているかを見る。

指摘 11：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第3学年及び第4学年〕2内容B書くこと(1)ア・イ・エ・オと(2)ア、〔知識及び技能〕(2)ア、学年の目標(2)(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

